

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三井不動産ロジスティクスパーク海老名1新築工事	階数	地上6F
建設地	海老名市新田字三番河原3290番12他191筆	構造	S造
用途地域	準工業、工業地域・防火無指定地区	平均居住人員	870人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,300時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年2月10日
敷地面積	54,847 m <sup>2</sup>	作成者	日鉄エンジニアリング(株)一級建築士事務所
建築面積	25,578 m <sup>2</sup>	確認日	2021年2月26日
延床面積	121,920 m <sup>2</sup>	確認者	日鉄エンジニアリング(株)一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0**

★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B+:★★ C:★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.3

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏中央連絡自動車道の海老名インターチェンジ南側及び相模川に隣接する敷地に位置し、海老名市道53号線、県道43号線に接道する大型物流センター施設。</li> <li>厚木駅から徒歩15分の工業地域であり、周辺環境向上と調和に配慮した事務所と工場の複合施設として計画された。</li> </ul>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>除湿・加湿可能な調湿空調機を設置している。</li> <li>空気取入口は汚染源のない方位に設け、かつ各種排気口と6m以上離れて設置されている。</li> </ul>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務室の天井高さは2.9m以上を確保。</li> <li>執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース及び自動販売機置場等を設置。</li> </ul>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地外周部に緑地帯を設ける。</li> <li>雨水貯留地を植栽基盤として活用する。</li> </ul>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>BPI<sub>m</sub>=0.77、BEI<sub>m</sub>=0.00、LED照明設備を導入している。</li> </ul>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動水栓、節水型便器を採用。</li> <li>共用部分にビニル床材、タイルカーペット、ボードを使用。</li> <li>躯体+鉄骨+仕上材のディテイルを採用している。</li> </ul>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼機器を使用しないので、敷地外に大気汚染物質の排出を行わない。</li> <li>駐輪場・駐車場及び荷捌用車両の駐車施設(トラック・バス)を確保し、車両出入り口付近に(トレーラーや大型車両の)待機スペースを確保し、周辺交通負荷の抑制を図る。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される